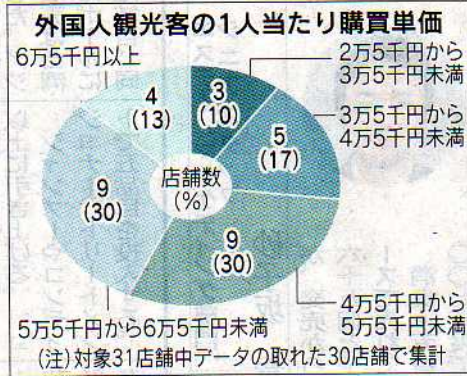


外国人観光客の購買単価

6万円



日本百貨店協会(東京)は一月二十日か

ら二月末まで実施した外国人観光客の招致プロジェクト「Yokoso! Japan Weeks 2008」の結果をまとめた。来店客ではアジア系

百貨店協が調査

調査対象は松坂屋や伊勢丹、三越、高島屋など大手のほか地方百貨店も加えた計二十社三十一店舗。来店客では一位が香港、二位が台湾、三位が韓国で、中国本土からの旅行者も五位に入った。一人当たり購買単価は五万九千八百八十三円で、五千―六千円とされる通常の購買単価の約十

倍。四万五千円以上の購買があった店は七割強を占めた。「バーバリー」「ルイヴィトン」のハンカチ、「アネエスベ」のバッグ、「資生堂」の化粧品といった「アジア系観光客の人気商品御三家」と称される特定ブランドに購買が集中した。プロジェクト期間中の一店舗平均の売上高は七千二百八十三万円、同購買客数は千二百五十七人。ただし免税手続きがされた購買分のみの数字で、免税対象外の化粧品や食料品を含めた実態額はもっと大きい。

来店客数、1位は香港

倍。四万五千円以上の購買があった店は七割強を占めた。「バーバリー」「ルイヴィトン」のハンカチ、「アネエスベ」のバッグ、「資生堂」の化粧品といった「アジア系観光客の人気商品御三家」と称される特定ブランドに購買が集中した。プロジェクト期間中の一店舗平均の売上高は七千二百八十三万円、同購買客数は千二百五十七人。ただし免税手続きがされた購買分のみの数字で、免税対象外の化粧品や食料品を含めた実態額はもっと大きい。

倍。四万五千円以上の購買があった店は七割強を占めた。「バーバリー」「ルイヴィトン」のハンカチ、「アネエスベ」のバッグ、「資生堂」の化粧品といった「アジア系観光客の人気商品御三家」と称される特定ブランドに購買が集中した。プロジェクト期間中の一店舗平均の売上高は七千二百八十三万円、同購買客数は千二百五十七人。ただし免税手続きがされた購買分のみの数字で、免税対象外の化粧品や食料品を含めた実態額はもっと大きい。